

浴衣着付け 4回で習得コース Q&A



# 浴衣増刊号

## 目次

頁

### よくある質問

なぜ下前が覗くのか .....	1
なぜヒップに皺がよるのか .....	3
なぜ胸元が崩れるのか .....	3
なぜ衣紋がなくなるのか .....	5
おはし折がぶかぶかの訳 .....	6
帯結びのポイント .....	7
腰紐の始末の仕方 .....	8
伊達締め of 始末の仕方 .....	10

## MIYUKI-kimono 着付け教室

電話問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-25-4677

着上がったら、下前が覗いています。(1)



☆ 裾合わせをして、余った身頃がウエストに掛けた紐の下に残っていませんか？



裾合わせをして余った身頃を、全てウエストより上に綺麗に上げておきます。

特に下前は、きちんと処理出来ているか分かり難い為、注意が必要です。

着上がったら、下前が覗いています。(2)



☆ 下前を体に巻きつけた時、左脇で引き上げるのを忘れていませんか？

下前を左脇まで巻きつけたら、ここで上前より5cm程引き上げます。

☆ 上前を下前にかぶせる時、上前の丈が短くなっていませんか？



下前を上げる時に、同時に上前が上がる事がよくあります。

上前をかぶせる前に、丈が短くなっていないか必ず確認をして下さい。

ヒップのところに皺がよってしまいます。



☆ 補正をしていますか？

ヒップの窪んでいる箇所にタレなどで補正をすると解消できます。(暑いから嫌がられる方が多いのですが、補正をしてもしなくても暑いので、出来上がりも綺麗になり、着崩れも防げて汗も吸ってくれる補正はした方がいいと思います。)

☆ ウエストに紐を掛ける前に、ウエスト周りの身頃の処理をしましたか？



上前をかぶせて、余った身頃を全てウエストより上に上げて処理をしたら、左上の写真の様に、ウエスト周りを下前の方へ押していき、ウエスト周りの身頃も処理しておきます。

押してきた身頃は、左の写真の様に、上前の中に入れておきます。

(必ずウエストより上に入れて下さい。)

胸元が崩れてしまいます。



☆ 首元から紐で押さえている位置までの衿の流れが湾曲になっていませんか？

首元から紐で押さえる位置まで、衿をまっすぐ直線にしておきます。

☆ 紐の上(胸元)にたるみが残っていませんか？

紐で押さえた後、紐下で胸元のたるみを引いておきます。



☆ 折り上げた下前が紐に掛かっていますか？  
(左の写真は分かりやすい様に、外でしていますが、  
実際は中で行います。)

下前を折り上げる位置に注意して下さい。

では、折り上げる位置は何処でしょうか？  
胸元にする紐に掛かり、おはし折に影響しない位  
置です。



つまり、ウエストの位置で折り上げれば、大丈夫です。

念の為、紐をする時には、折り上げた下前に掛か  
っているか、確認して下さい。



衣紋がなくなってしまうです。



☆ 前の衿合わせや、下前の処理、紐で押さえる時に、衿を前に引いていませんか？

前の衿合わせに夢中になるあまり、どんどん力が入り、下に引いてしまいがちです。衿合わせは、力を抜いて体に沿わせるようにしてみてください。

また、紐を掛けた後に、左下2枚の写真の様に、背中のお皺をしっかり取り、紐の下でしっかり下に引いておきます。



(point)

皺 たるみを取る時は、先に背中からして、次に胸元をします。





おはし折がぶかぶかします。



☆ 右脇で引き合えていますか？

5cm～6cm 程の幅（手幅程）を左上の写真様に、左手で押していきます。



左の写真の様に、押してきたおはし折を右脇で、上前の中に入れます。

(point) この時、ここで、おはし折の下線と、6cm程上の箇所、下前は前へ、上前は後ろへ押し互いに引き合って処理をします。



その引き合った箇所を逃がさないように伊達締めで押さえれば大丈夫です。



おハネが背中から離れ、落ちそうな感じの仕上がりになります。



☆ 帯は、帯の上線の上で結びましたか？

ふた巻きした帯を手先で結ぶ時、帯の上線の上で結びます。



☆ おハネを手先で結んだ結び目をきちんと処理しましたか？

おハネを手先で結んだ結び目を帯のなかに差込みしっかり固定します。



☆ おハネを作った結び目の元に緩みはありませんか？

ここに緩みが残っているとおハネはぐらつきます。

おハネが手先で結べません。



☆ おハネを作った結び目の元の向きは正しいですか？

おハネを作った結び目の元を必ず右へ返します。  
(ここが、左へ返っていると結べません。)

腰紐の始末の仕方



裾合わせ時の紐

紐の中心を体の中心(ウエスト)に当て、後ろに回し、  
そこでしっかり締め、前へ回します。

前では蝶結びにするか、蝶結びの片方の輪を引き  
抜いてしまいます。

紐の端は、体に巻きつけた紐に挟んでおきます。



## 腰紐の始末の仕方



### 胸元の紐の始末

紐の中心を体の中心(みぞうちの少し下)に当て、体に巻きつけます。  
前では、一度掛けして交差して紐の端を巻きつけた紐に挟みます。



(注)この紐は、締める必要はありませんが、体にはしっかりフィットさせて下さい。

後ろへ回す時は後ろへ、前へ戻す時は前へ、紐をしっかり押していくのがコツです。



## 伊達締め of 始末



おはし折を始末した右脇をポイントにして、体にしっかり当て後ろへ回します。

(注) 伊達締めも、締める必要はありません。  
体にフィットしていれば大丈夫です。



後ろでは片方を上に、  
その上になった分を折り返します。



前では一度掛けして交差させ、端を挟んでおきます。